

ナショナルリズムとの対話

～広島から考える東アジア

冷戦終了後以降、東アジアの関係は近年最も緊迫しています。私たち市民はこのような事態をどう考え、対処すればいいのでしょうか。中国、朝鮮半島、台湾、さらに外交の専門家を司会、パネリストにしてその方策や手がかりを探ります。

司会

広島市立大学
西田 竜也 准教授
(国際関係論)

パネリスト

広島大学 丸田 孝志 教授
(中国近代史)
島根県立大学 福原 裕二 准教授
(朝鮮外交)
県立広島大学 上水流 久彦 講師
(台湾文化論)

日 時：7月21日(月) 14時～15時50分(13時30分 受付開始)
場 所：中国新聞社大ホール (広島市中区土橋町7-1 082-236-2455)
広島バス 吉島営業所または吉島病院行き約15分、平和公園前バス停下車5分
市内電車 『江波』『己斐』『宮島』行き20分 土橋本川町下車 徒歩10分

対 象：学生および一般の方
聴 講 料：無料 (直接会場にご来場ください)
問 合 せ 先：県立広島大学地域連携センター
電話：082-251-9534 メール：renkei@pu-hiroshima.ac.jp

主 催：県立広島大学地域連携センター
後 援：中国新聞社・台湾友好ひろしまネットワーク・広島県日韓親善協会